

CT検査の放射線被ばくについて

CT検査とは

CTとはコンピューター断層撮影の略です。
X線撮影と同様にX線を用いるため放射線被ばくを伴います

どの程度の被ばくで、身体への影響は？

1回のCT検査での被ばくは5~30mSv程度とされています。
(検査の部位・内容により、被ばく線量も異なります)
身体への影響、発がんリスクの上昇は100mSv未満では認められておらず、通常のCT検査では被ばくのデメリットよりも診断で得られる利益の方が上回ると考えられます。

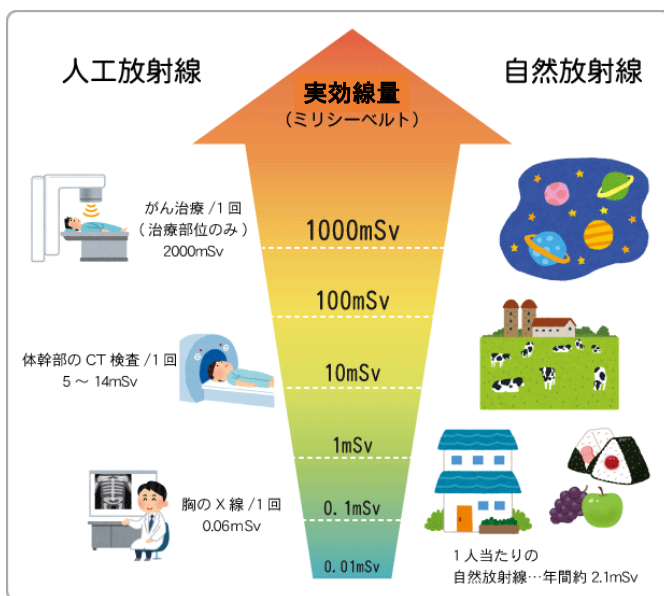
主な検査の被ばく線量

胸部X線検査：0.4mSv

頭部単純CT：2~3mSv

胸部単純CT：7~8mSv

腹部単純CT：10mSv



当院のCT検査による放射線量について

放射線を用いる検査には、関連学会により設定された診断参考レベルと呼ばれる放射線量の基準値があります。当院では被ばく低減に努めており、この基準値以下の放射線量でCT検査を行っています。